

第27期第2四半期株主通信

(平成22年10月1日から平成23年3月31日まで)



セントラルサービスシステムグループ
CENTRAL SERVICE SYSTEMS GROUP
株式会社CSSホールディングス

株主の皆様へ

このたびの東日本大震災により被災された株主の皆様とご家族の方々に、謹んでお見舞い申し上げます。被災された皆様のご健康と一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

株主の皆様には、日頃より当社グループにひとかたならぬご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。平成23年3月31日を以て第27期第2四半期を終了致しましたので、ここに株主通信をお届けし、当社グループの事業の概況をご報告申し上げます。

当上半期は、各事業の施策が順調に進捗し、増収増益を達成することができました。しかしながら、東日本大震災の発生は、当社グループへの直接的な被害は無かったものの、サービス産業全体に甚大な影響を及ぼし、当社グループを取り巻く経済環境は一変致しました。

当社の主要顧客の動向は極めて不透明であり、現時点においてホテル業界は、外国人旅行者の減少等により客室稼働率が平成3年以降過去最低を記録し、自粛ムードによる宴会や婚礼の中止・延期が相次いでおります。また、商業施設業界においても、消費マインドの低下により来客数が減少し、定期改修や更新工事は先送りとなっております。

このような大変厳しい状況のもと、通期の業績予想は大幅な下ぶれが避けられない状況であり、入手可能な情報に基づき、震災の影響の数値化ができ次第、速やかに通期の業績予想の修正を公表する予定でございます。

当社グループは、これら震災の影響を重く受け止め、各事業の施策の中から、売上の拡大に向けた重点施策を絞り込み、5ページに記載する「今後の取り組み」として具現化してまいり所存です。株主の皆様にごかれましては、この難局を乗り越えるため倍旧のご支援を賜りたく、何卒お願い申し上げます。

代表取締役社長 林田 喜一郎

第2四半期の業績レポート

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の一部で持ち直しの動きが見られ、緩やかな回復の兆しが現れてきておりました。このような中、当社グループは、次頁の事業別の状況に記した施策を実施し、増収増益となりました。

第2四半期連結累計期間	
連結売上高	6,458百万円 (前年同期比 1.1%増)
連結営業利益	199百万円 (前年同期比 38.4%増)
連結経常利益	208百万円 (前年同期比 33.1%増)
連結四半期純利益	152百万円 (前年同期比 49.5%増)

続きまして、当第2四半期累計期間における事業別の状況は次のとおりです。

スチュワード管理事業 株式会社セントラルサービスシステム（CSS）は、ホテル・レストランにおける食器洗浄を中心としたスチュワード管理を全国展開している当社グループの中核事業です。

当第2四半期累計期間においては、都心の名門ラグジュアリーホテルより昨年10月のグランドオープンと同時にスチュワード管理業務を受注し業務を開始するとともに、全国約100事業所において効率的な業務運営を提案・実施致しました。

総合給食事業 株式会社センダン（SDN）は、従業員食堂運営を中心にレストラン運営などフード

サービスに係る総合給食事業を全国展開しております。

当第2四半期累計期間においては、CSSと共同で相互の顧客基盤を活かした営業展開を図り、中部地区の私立大学内の学生食堂運営、沖縄地区のホテル内の従業員食堂運営を含め、6件の新規受注を獲得致しました。加えて、本社業務の効率化を進めるとともに、食材の統一調達システムによる食材原価の安定化と顧客ニーズに対応したメニュー開発に注力致しました。

映像・音響機器等販売施工事業 東洋メディアリンクス株式会社（TML）は、日本のBGMのパイオニア企業としての音楽関連事業と、セキュリティシステム、映像・音響システムの設計施工事業を幅広い顧客層に展開している当社グループの中核事業です。

当第2四半期累計期間においては、売上の集中する3月の年度末需要に向けた積極的な営業活動を推進し、金融機関の多店舗にわたる防犯カメラ設備の増設・切替工事や、関東地区の大型オフィスビルおよび関西地区の大型商業施設の弱電工事、関東地区のエキナカ・駅チカ商業施設のBGM設備機器の更新工事等の受注により、売上高の確保に注力致しました。

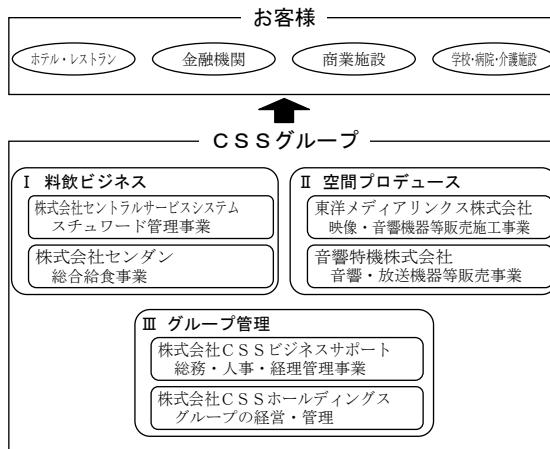
音響・放送機器等販売事業 音響特機株式会社（OTK）は、大型スピーカーやアンプ等のプロフェッショナル向け音響機器の輸入および販売事業を展開しております。

当第2四半期累計期間においては、海外ブランド

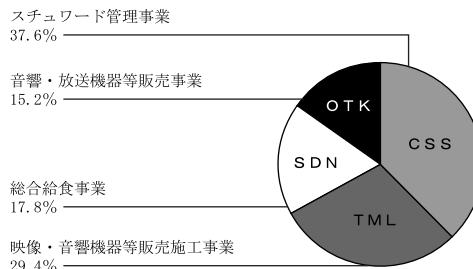
のラインナップの拡充を図り、関東地区および九州地区の展示会への出展をはじめとする販促活動を積極的に推進致しました。また、3月の年度末需要の取り込みを目標とした、主力商品の販売キャンペーン等を効果的に実施致しました。

総務・人事・経理管理事業 株式会社CSSビジネスサポート（CBS）は、総務・人事・経理業務をグループ会社より受託しております。

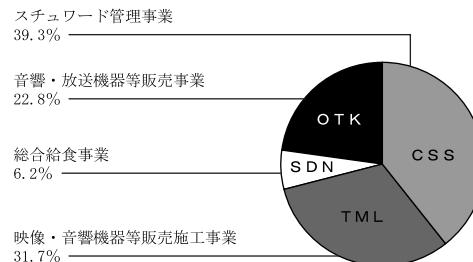
当第2四半期累計期間においては、SDN全事業所への労務管理システムや、CSS・SDN全事業所への新グループウェアの導入、CSS・SDNのパートナー（パート・アルバイト）の給与明細の電子化、グループ各社の一層の業務効率化を推進し、業績は計画どおり推移致しました。



売上高構成比率（事業別）



営業利益構成比率（事業別）



四半期連結財務諸表

■連結貸借対照表

(単位：千円)

科 目		当第2四半期末 2011年3月31日現在	前 期 末 2010年9月30日現在
資産合計		6,472,452	6,356,850
	流動資産	4,990,914	4,902,348
	固定資産	1,481,538	1,454,502
負債合計		4,774,933	4,793,303
	流動負債	3,454,502	3,493,916
	固定負債	1,320,431	1,299,386
純資産合計		1,697,519	1,563,547
	株主資本	1,717,273	1,589,788
	評価・換算差額等	△19,754	△26,240
負債・純資産合計		6,472,452	6,356,850

■連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科 目	当第2四半期 2010年10月1日から 2011年3月31日まで	前第2四半期 2009年10月1日から 2010年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	149,925	438,776
投資活動によるキャッシュ・フロー	△60,183	109,456
財務活動によるキャッシュ・フロー	△58,714	△34,830
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	31,027	513,402
現金及び現金同等物の期首残高	2,313,842	2,402,021
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,344,870	2,915,423

■連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	当第2四半期 2010年10月1日から 2011年3月31日まで	前第2四半期 2009年10月1日から 2010年3月31日まで
売上高	6,458,863	6,387,863
売上原価	5,314,060	5,287,914
売上総利益	1,144,802	1,099,948
販売費及び一般管理費	945,389	955,886
営業利益	199,413	144,602
営業外収益	41,109	55,162
営業外費用	32,072	42,657
経常利益	208,449	156,566
特別利益	0	0
特別損失	23,104	17,782
税金等調整前四半期純利益	185,345	138,784
法人税、住人税及び事業税	29,130	31,238
法人税等調整額	3,505	5,413
四半期純利益	152,709	102,132

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

今後の取り組み

当社グループは、このたびの東日本大震災の影響を受け止め、各事業の施策の中から、以下を重点施策とし、サービスと収益の拡大を目指してまいります。

スチュワード管理事業

株式会社セントラルサービスシステム（CSS）

横展開

主要顧客であるホテル・レストラン業界に加え、商業施設業界やレジャー産業界への進出を目的に、スチュワード業務の一部として行っていた清掃を独立させ、「スチュワード業務」「清掃業務」「給食業務」を柱として、顧客ニーズに合わせたパッケージ化を提案してまいります。

営業の一本化（CSS・SDN共通）

営業効率の向上とパートナー企業様からの営業情報の拡充を目的に、従来は、CSS、SDNそれぞれが単独で行っていた営業を、上記のパッケージ化の提案に伴い、CSS・SDN間で営業情報を共有管理し、営業の一本化を図ります。

総合給食事業

株式会社センダン（SDN）

レストラン・スタイルの提案

お客様の嗜好と流行の移り変わり、給食会社の選定基準の多様化に対応するため、SDNが提案する食堂の標準モデルを、SDNの強みである現地調理と味へのこだわりを残しながら、旧来の従業員食堂スタイルからレストラン・スタイルへと転換を目指します。

これにより、レストラン・クオリティを望まれるお客様のニーズに対応してまいります。

映像・音響機器等販売施工事業

東洋メディアリンクス株式会社（TML）

西日本への販売拠点の拡大

全国に支店・拠点を持つ大型商業施設や金融機関等に向けたサービスの向上を目的に、西日本への販売拠点の拡大を目指します。

フルデジタル化の対応（ハード部門）

メーカーを限定せず、空間特性に合わせた最適なセキュリティ・システムを設計・施工できる強みを活かし、映像・音響システムの独立系ブランニング企業として、大型商業施設や金融機関等向けに、フルデジタル標準化の提案を促進してまいります。

音によるブランディング（ソフト部門）

大型商業施設、多店舗型ブランドショップ、多店舗型レストランのブランディングをサポートするため、音を基軸に映像、照明、ナレーション、香りなどを加えたオリジナルな空間演出を促進してまいります。

音響・放送機器等販売事業

音響特機株式会社（OTK）

自社ブランドの強化

プロオーディオ機器を取り扱う専門商社として、豊富な専門知識を背景に、海外ブランドの国内総代理店権獲得を推し進めます。

販売拠点の拡大

新たに獲得した海外ブランドの販売ルートを広げるため、現在の東京本社、大阪営業所、福岡営業所に加え、さらなる販売拠点の拡大を検討してまいります。

株式の状況／会社概要

■大株主（2011年3月31日現在）

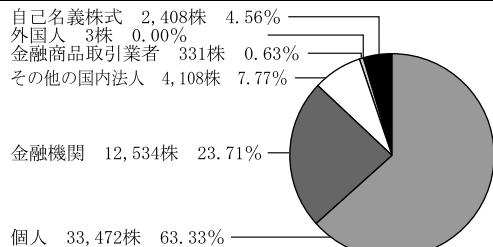
	持株数	持株比率
野口 緑	15,354株	30.44%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(リテール信託口620090802)	6,440株	12.77%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(リテール信託口620090803)	5,960株	11.81%
S・T・E・C株式会社	1,802株	3.57%
白土 将敏	1,714株	3.40%
株式会社広美	1,200株	2.38%
CSSグループ従業員持株会	765株	1.52%
三瓶 秀男	608株	1.21%
堀江 豊	601株	1.19%
有限会社福田製作所	600株	1.19%

※持株比率は、自己名義株式（2,408株）を控除して計算のうえ、小数点第三位を四捨五入して表示しております。

■株式の状況（2011年3月31日現在）

発行可能株式総数	207,760株
発行済株式総数	52,856株
株主数	1,816名

■株式分布（2011年3月31日現在）



※分布比率は、小数点第三位を四捨五入して表示しております。

■会社概要（2011年3月31日現在）

会社名	株式会社CSSホールディングス	
本社所在地	東京都千代田区麹町六丁目1番地25	
会社設立	1984年（昭和59年）12月	
資本金	393百万円	
連結従業員数	3,955名（うち、パート・アルバイト 3,504名）	
役員	取締役会長	野口 緑
	代表取締役社長	林田 喜一郎
	取締役相談役	松木 崇
	取締役	渡邊 和男
	取締役	三瓶 秀男
	取締役	磯邊 和彦
	取締役	杉山 衛正
	取締役	川勝 雄介
	常勤監査役	山館 博康
	監査役	越智 敦生
	監査役	瀧口 正則

株主メモ

事業年度	毎年10月1日から翌年9月30日まで
定時株主総会	毎年12月
基準日	定時株主総会・期末配当 毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル) 取次事務は、中央三井信託銀行株式会社の全国各支店ならびに 日本証券代行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

<住所変更等のお申出先について>

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

<未払配当金の支払について>

株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。